

軍隊 内務書問題

- 一、軍隊ニ於ケル意見具申ト服従トノ關係ニ就テ説明セヨ(七年14各兵)
- 二、歩、騎、砲、工、輜重兵聯(大)隊内ニ於ケル命令傳達系統並其主任者ヲ圖示スヘシ(七年14各兵)
- 三、理解アル服従トハ如何(八年14各兵)
- 四、統御ノ要訣ニ就キ論述スヘシ(八年14各兵)
- 五、左記事項ヲ問フ(八年11各兵)
 - 1、軍紀ト服従トノ關係ヲ略述シ軍紀振作ノ實證ヲ附記スヘシ
 - 2、命令下達ノ本旨並命令傳達ノ主任者及將校以下ニ命令ヲ傳達スル方法ヲ述フヘシ

軍隊内務書答案

一、著艦第二章第九ヲ引用記述スヘシ

軍隊ヲ利益スルニ足ルト信スル所ハ上官ヲ輔佐スルノ至情ヲ以テ之ヲ上官ニ開陳スルハ各級ノ軍人特ニ幹部ノ義務トス然レトモ一度上官ノ決定シタル事項ニ對シテハ假令意見ヲ異ニスルトキト雖常ニ己ヲ虚クシテ專心上官ノ意圖ヲ達スルコトヲ勉ムヘシ

二、著艦第十章第五十八、五十九、第六十ヲ參照シ左ノ如ク圖示ス

1、歩、砲兵聯隊

聯隊長一大隊長一中隊長一中隊一級
聯隊副官一大隊副官一中隊曹長一班長一兵

2、騎兵聯隊

聯隊長一中隊長一中隊一級
聯隊副官一曹長一班長一兵

3、工兵、輜重兵大隊

◆軍隊内務書答案◆

大隊長一中隊長一中隊一級

大隊副官一曹長一班長一兵

備考 一ハ命令系統

二ハ命令傳達主任者

三、著艦綱領第三ヲ参照ス

服從ハ軍紀ヲ維持スルノ要道ニシテ服從ナキ軍隊ハ烏合ノ衆ニ異ナラス命令一下直ニ之ヲ服從シテ全身ノ努力ヲ以テ其命令ノ實ヲ達成スルコトカ軍成立ノ根本ナリ以上ノ根本義ヲ衷心ヨリ理解シ犠牲的精神ヲ以テ彈丸雨注ノ間尙克ク身命ヲ君國ニ致シ一意上官ノ指揮ニ從フモノ即チ理解アル服從ナリ

四、著艦綱領第六ヲ引用ス

部下ヲ統御スルニハ上官ハ部下ノ儀表タラサルヘカラス宜シク識見ヲ養ヒ德性ヲ修メ品位ヲ高尙ニシ公私ノ別ヲ明ニシテ公明事ニ從ヒ法規ヲ嚴守スルノ間尙部下ヲ遇スルニ骨肉ノ情ヲ以テシ部下ヲシテ上官ハ眞ニ己ノ掩護者タルノ念ヲ懷カシムヘシ斯クノ如

◆軍隊内務書答案◆

二

ンへ上下相倚リ意志疎通シ部下ノ信頼期セスシテ一身ニ集リ死生ノ間克ク部下景仰ノ中心タルヲ得ン是レ衆望ヲ得ルノ道ニシテ統御ノ要訣亦實ニ此ニ存ス

五、1、著眼網領第三ヲ参照ス

イ、軍記ト服從トノ關係、服從ハ軍記ヲ維持スルノ要道タリ上下ノ間絶體ニ之ヲ勵行シ習性ト成ルニ至ラシムルヲ要ス

ロ、軍記振作ノ實證、時ト所トヲ論セス上下齊シク法規ヲ格守シ熟誠以テ軍務ニ努力シ命令必ス行ハル是ヲ軍記振作ノ實證トナス

2、著眼第五十七第六十第六十三ヨリ引用ス

イ、命令下達ノ本旨、命令ノ下達ハ迅速確實ニシテ遺漏過誤ナク其趣旨ヲ貫徹セシムルヲ本旨トスロ、命令傳達ノ主任者、聯大隊本部ニ在リテハ當該副官中隊ニアリテハ曹長、内務班長トス

ハ、將校、同相當官、準士官、下士官（伍長勤務上等兵ヲ含ム）ニハ命令錄ニ就キ各自フシテ閲讀セシム兵ニハ内務班長要旨ヲ摘ミ注意フ加ヘテ口達セシム

步

兵

操

典

步兵操典問題

一、歩兵ノ對瓦斯行動ニ就キ如何ナル程度ニ訓

練スヘキモノナリヤ又瓦斯攻擊ヲ受ケタル場合
合防毒面ノ裝着竝離脱ヲ爲シ或ハ之ヲ命スル
責任者如何(七年9)

二、歩兵小隊戰闘ノ爲前進間敵火ノ損害ヲ減少 スル手段ヲ述ヘヨ(六年1)

三、左ノ事項ヲ説明スヘシ

- 1 攻撃ニ於テ歩兵小隊ノ火線構成及射擊開始
ノ兩時期ニ於ケル小隊長ノ處置スヘキ件
- 2 防禦ニ於テ小隊ノ火網ヲ定ムル要領
- 3 曲射歩兵砲ノ煙幕射擊ヲ爲スヘキ場合

四、小隊長火線構成スルニ當リ左記事項ニ就キ
説明スヘシ(七年近)

◆歩兵操典◆

1 火線構成ノ方法

2 火線ニ用フル兵力決定ノ要旨

3 輕機關銃分隊ノ用法竝輕機關銃相互ノ間
隔決定ノ要旨

五、攻撃ニ於テ小隊ノ火線構成ニ方リ火線ニ用 フル兵力決定ノ要領ヲ問フ(七年1)

六、左ノ件ヲ説明スヘシ(七年3)

- 1 攻撃及防禦ニ於ケル射擊開始ノ時期
- 2 機關銃射擊ノ要訣

七、左記各項ヲ問フ(七年2)

- 1 射擊開始ノ時機
- 2 小隊防禦ニ於テ敵兵煙幕ヲ利用シテ攻撃
シ來ル時ノ防禦戰闘法

◆步兵操典◆

二

八、陣地攻撃中ノ歩兵小隊長トシテ友軍ノ機關銃及歩兵砲トノ協同ノ要領ヲ説明スヘシ（七年7）

九、大隊、中隊ノ豫備隊及小隊ノ援隊ニ就キ其用途ヲ攻撃、防禦ニ區分シ説明スヘシ（八年5步）

一〇、小隊ノ攻撃及防禦ニ於テ援隊ノ用途ヲ各別ニ記スヘシ（七年近）

一一、晝間ノ攻撃及防禦ニ於ケル援隊並中隊豫備隊ノ用途如何（七年3）

一二、攻撃ニ於ケル小隊ノ援隊、中隊ノ豫備隊使用法ヲ比較スヘシ（七年8）

一三、左ノ如キ状況ニ於テ小隊長ハ突撃前及突撃後擲弾筒ニ如何ナル目標ヲ射撃セシムヘキヤ（七年2）

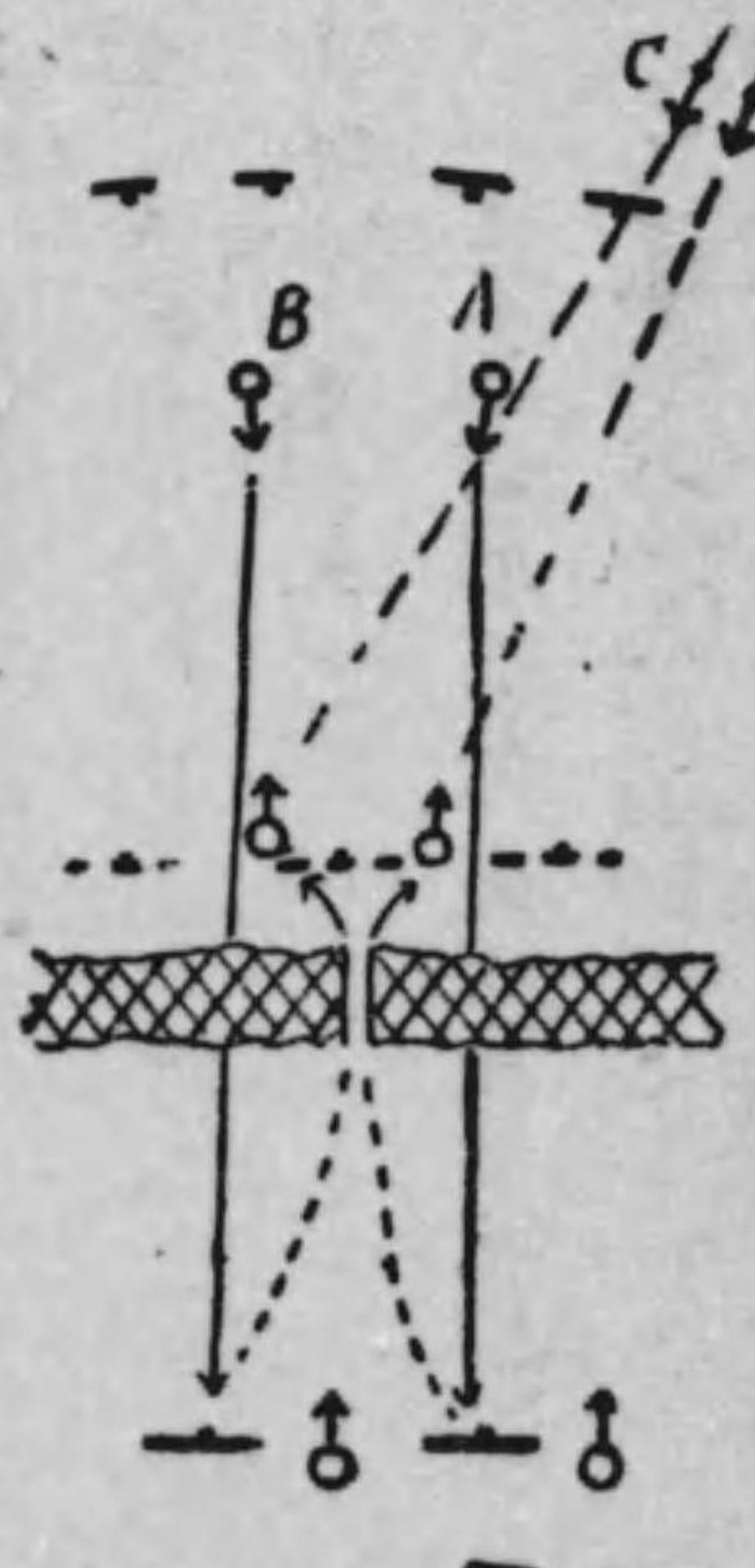
一四、歩兵小隊ノ陣地ニ對スル突撃準備要領（晝間）ヲ圖示説明スヘシ（七年6）

一五、小隊ノ突撃準備ニ就テ述ヘヨ（七年近、1²、14、臺八年720步）

一六、小隊ノ突撃實行並ニ敵陣内攻撃要領ヲ述フヘシ（七年7八年0步）

一七、防禦ニ於ケル小隊ノ逆襲ニ關シ説明スヘシ（七年2）

一八、歩兵中隊及小隊ノ逆襲ノ要領ヲ説明スヘシ（七年11八年7步）



一九、戦闘ノ爲前進スル歩兵中隊ノ疎開隊形ヲ圖示シ且構成ノ號令（一例）ヲ附記セヨ（七年9）

二〇、攻撃ニ於ケル中隊ノ展開要領並攻撃目標ノ指示法ヲ述フヘシ（七年20）

二一、騎兵、飛行機、砲兵ニ對スル歩兵ノ戦闘要領ヲ説明スヘシ（七年20）

二二、中隊長以下各幹部ノ對瓦斯處置ヲ述ヘヨ（七年8）

二三、左ノ事項ヲ説明スヘシ（七年16）

1 晝間防禦ニ於ケル歩兵中隊支點配置ノ要領

2 機関銃射擊目標選定ノ要領

二四、夜間攻撃ニ於ケル中隊ノ攻撃隊形選定ノ要領ヲ述ヘヨ（七年近、七八年20步）

◆步兵操典◆

三

二五、夜間ニ於ケル中隊ノ攻撃隊形ヲ圖示シ其利害用所ヲ述ヘヨ（七年16）

二六、夜間ニ於ケル歩兵中隊ノ攻撃隊形選定要領及輕機關銃、擲弾筒ノ用法ニ就キ説明スヘシ（七年3）

二七、中隊夜間攻撃ノ隊形ヲ圖示セヨ（七年8）

二八、中隊夜間攻撃ノ要領如何（七年臺）

二九、防禦ニ於ケル中隊ノ晝夜配備ノ變更ノ要領ヲ述ヘヨ（七年8）

三〇、輕機關銃ノ各種射法ノ選定要領及其理由ニツキ記述スヘシ（七年臺）

三一、中隊ノ防禦ニ於ケル監視部隊ニ就キ左記事項ヲ記述スヘシ（七年臺八年步9）

目的 數及兵力 配置スヘキ位置 撤退ノ時機 行動

◆步兵操典◆

四

三二、夜間防禦ニ於ケル支點ノ配置及支點ノ配備ヲ説明スヘシ(六年1)

三三、歩兵中隊ノ夜間防禦ノ一例ヲ圖示シ晝間ニ比シ差異アル點ヲ附記、説明スヘシ(七年1、6)

三四、陣地攻撃ニ於テ左ノ事項ヲ説明スヘシ

(七年16)

1 第一線歩兵小隊長陣内戰指導ノ要領
2 機関銃小隊長陣内戰協力ノ要領

三五、攻撃ニ於テ機関銃中隊ノ陣地偵察ノ要領

ヲ説明スヘシ(七年14)

三六、攻撃及防禦ニ於ケル歩兵機関銃陣地ニ具備スヘキ要件ヲ列舉セヨ(七年6)

三七、攻撃ニ於ケル機関銃陣地選定ノ要旨如何
(六年1、七年20)

四三、敵ノ意表ニ出スルノ價值及之カ手段ヲ述

ヘヨ(八年10歩)

四四、夜間各個戰闘教練ニ於テ訓練スヘキ事項ヲ重要ノ度ニ應シ列記スヘシ(八年14歩)

四五、左ノ事項ニツキ説明スヘシ(八年5)

1、攻撃ニ於ケル手榴弾ノ用法
2、防禦ニ於ケル輕機関銃分隊ノ陣地カ敵ノ突撃ヲ受ケシ時ノ動作

3、機関銃ノ夜間射擊設備上特ニ注意スヘキ件

四六、輕機關銃分隊ノ小銃使用ノ時機ヲ説明スヘシ(八年14歩)

四七、小隊ノ攻撃及防禦ニ於ケル擲弾筒ノ用法ヲ述ヘヨ(八年5歩)

四八、攻撃ニ於テ歩兵小隊ノ火線構成及射擊開

◆步兵操典◆

五

三八、攻撃ニ於ケル機関銃射擊目標選定ノ要領ヲ説明スヘシ(七年9)

三九、大隊ニ配屬セラレタル歩兵砲ノ用途及攻撃戰闘ニ於ケル其用法ヲ問フ(七年1)

四〇、歩兵大隊ノ夜間攻撃ノ要領ヲ圖示シ簡單ナル説明ヲ附記スヘシ(七年6)

四一、歩兵ノ戰車ニ對スル各種戰闘方法ヲ述ヘ且之カ實施上著意スヘキ要件ヲ問フ(七年11)

四二、戰車ヲ伴フ敵ニ對スル戰闘法ヲ問フ(七年14八年10歩)

四三、敵陣地突入後ニ於ケル小隊長ノ動作ヲ説明スヘシ(八年0歩)

四四、晝間攻撃ニ於ケル突擊準備ノ爲小隊長ノナスヘキ事項ヲ述フヘシ(八年0歩)

四五、敵陣地突入後ニ於ケル第一線小隊戰闘ノ要領ヲ述フヘシ(八年11歩)

◆歩兵操典◆

六

五五、攻撃ニ於ケル聯隊以下ノ豫備隊ノ用途ヲ

述フヘシ(八年10步)

(八年16步)

五六、大(聯)長ノ行フ逆襲ト中(小)隊長ノ行フ

逆襲トヲ比較説明スヘシ(八年14步)

五七、戦闘間ニ於ケル中隊長以下ノ對瓦斯行動

ヲ説明スヘシ(八年9步)

五八、夜間中隊ノ各種攻撃隊形ヲ圖示シ之カ得

失ヲ概説スヘシ(八年16步)

五九、歩兵中隊夜間接敵運動間ニ於ケル注意ス

ヘキ事項ヲ述ヘヨ(八年11步)

六〇、中隊ノ夜間ニ於ケル攻撃隊形ヲ記述スヘ

シ(八年5步20步)

六一、歩兵中隊夜間障碍物ヲ破壊シテ行フ攻撃

ノ要領ヲ述フヘシ(八年0步)

六二、中隊夜間防禦ノ一例ヲ圖示説明スヘシ

(八年5步)

六九、戰車ニ對スル歩兵各種火器ノ射擊要領ヲ

問フ(八年9步)

七〇、敵陣地攻撃ニ於テ第一線小隊長トシテ戰

車トノ協同動作ヲ説明スヘシ(八年2步)

以下二題ハ圖上ニ於テ情況ノ下ニ課セラレタル應用問題ナリ

七一、輕易ナル陣地ニ對スル攻撃ニ於テ突撃準備中ノ大隊MG(一小缺)ノ陣地ヲ何レニ求ムヘキヤノ問題(八年16步)

七二、中隊ノ攻撃ニ於テ地形ノ關係上一時中隊長ノ指揮ヲ離レタル小隊(MG一小缺一分直接協力)ノ小隊長ノ突撃及敵陣内攻撃ノ爲行フヘキ處置ヲ圖示スル問題(八年16步)

步兵操典答案

一、著眼總則第九及戰闘間兵卒一般ノ心得ノ中ヨリ左ノ如ク記ス

1 對瓦斯行動ノ訓練

歩兵ハ敵ノ瓦斯攻撃ヲ受ケ或ハ撒毒地域ニ遭遇スルモ各部隊ノ協同ヲ破壊セラレ又ハ戰機ヲ逸スルカ如キコトナク戰闘ヲ遂行シ得サルヘカラス之力爲昼夜ヲ間ハス瓦斯ニ對スル搜索、警戒、防護竝防護ヲ施セル場合ノ戰闘動作ニ熟セシムルコト必要ナリ

2 防毒面ノ著脱

瓦斯攻擊ヲ受クルカ或ハ之カ警報ヲ聞クカ若ハ撒毒シアルヲ豫察シタルトキハ直ニ比隣相傳ヘ別命

フ待タス各自迅速確實ニ防毒面ヲ裝著スヘシ

防毒面ノ離脱ハ小隊長以上ノ指揮官ノ命令ニ依ルヲ本則トス

二、著眼第二百四十六、第二百四十七、第二百五十

一ノ中ヨリ左ノ如ク抜萃記述スヘシ

1 接敵前進ノ要領

◇步兵操典◇

戰闘ノ爲ノ前進間中隊既ニ疎開ニ移レハ小隊ハ地形ノ利用、隊形ノ選擇竝機敏ナル行動ニ依リ勉メテ敵火ノ損害ヲ避クルコトニ勉ムヘシ

2 疏開ノ時期

戰闘ノ爲ノ前進間地形其他ノ利用スヘキモノナク敵砲兵ノ有效射擊ヲ被ラントスル顧慮アルニ至レハ多クハ小隊ヲ疎開シテ前進スルニ至ルモノトス

中隊展開前ニ在リテハ最初ノ疎開ハ通常中隊長ノ命令ニ依ルモノトス

3 運動ノ統轄

小隊長ハ地形及敵火ノ状態ヲ判斷シ特ニ歩度ノ選擇ニ注意シ或ハ敵火ノ間断ヲ利用シテ一地區ヨリ一地區ニ小隊一齊ニ或ハ分隊毎ニ躍進セシムル等勉メテ敵ヲシテ目標ヲ捉フルニ達ナカラシムル如ク敏活不規ニ其行動ヲ律スルコト緊要ナリ
小隊長ハ小隊既ニ疎開セル場合ニ於テモ状況之ヲ許スニ至レハ直ニ集結シテ前進シ爾後必要ニ應シ

◇歩兵操典◇

二

再ヒ疎開スル等適宜隊形ヲ選擇シ以テ小隊ノ隊形ヲシテ敵火ノ状態及地形ニ適應セシムルヲ必要トス

三、著眼 1ハ第二百五十七及第二百五十九、2ハ第二百十八、3ハ第六百六十八ノ中ヨリ左ノ如ク記ス

ス

1(イ)火線構成ノ處置

火線ヲ構成スルニハ小隊長ハ各分隊長ニ小隊ノ射撃スヘキ目標、火線ニ出スヘキ分隊、基準分隊及其關係位置ヲ示シ又授隊ニ行動ノ準據ヲ與へ且要スレハ授隊ノ長ヲ命ス

小隊ノ射撃スヘキ目標ハ爲シ得レハ豫メ之ヲ示シ置クヲ可トス

(ロ)射撃開始時ノ處置

左ノ事項ヲ示ス

敵線ニ至ル距離

射撃開始ノ地點等所要ノ事項ヲ示ス

射撃開始ヲ命ス

2 火網ヲ定ムル要領

小隊ノ火網ヲ定ムルニハ其任務ニ基キ各種火器ノ

四、著眼第二百五十三、第二百五十四、第二百五十五、第二百五十六ヲ左ノ如ク記ス

1 第一線ノ小隊ハ射撃開始ニ先ダチ火線ヲ構成ス之カ爲小隊ハ火線ト授隊トニ區分ス

2 火線ニ用フル兵力ハ状況ニ依リ決定スヘキモノナルモ當初ハ成ルヘク之ヲ節約スルヲ可トス是最初ヨリ小隊ノ大部ヲ火線ニ配置セハ火線ハ著シク濃密トナリ無益ノ損害ヲ受クルノミナラス爾後其火力ヲ維持増大スルコト困難ナレハナリ然レトモ状況之ヲ要スレハ當初ヨリ十分ノ兵力ヲ火線ニ配置スルニ躊躇スヘカラス

3(イ)輕機關銃分隊ハ專ラ火戦ニ任シ小銃分隊ハ火戦ト白兵戦トヲ擔任スルモノトス從ヒテ輕機

關銃分隊ハ當初ヨリ火線ニ出シ之ニ若干ノ小銃分隊ヲ併用スルヲ通常トス
(ロ)火線ノ構成ニ方リ輕機關銃分隊相互ノ間隔並隣接小隊ノ輕機關銃分隊トノ間隔ハ多クノ場合五十米ヲ標準トス然ルトキハ敵砲火ノ損害ヲ減少シ且中隊ノ正面ニ對シ適宜其火力ヲ指向シ得ルノミナラス此等間隔内ニ小銃分隊ト輕機關

特性ヲ遺憾ナク發揮シ其威力ヲ最モ有效ニ利用シ得ル如クスルヲ要ス之カ爲小銃ハ主トシテ正面射ニ、輕機關銃ハ勉メテ斜射、側射ニ任セシメ擲弾筒ハ主トシテ小銃及輕機關銃火ヲ及シ得サル地域ニ對シ其特性ヲ發揮セシムル如ク之ヲ使用スヘキモノトス

小隊長ハ隣接部隊トノ連繋ヲ密ナラシメ要スレハ他部隊ヨリ射撃スルヲ要スル部分及其火力等ニ關シ中隊長ニ報告シテ中隊全般ノ火網ニ缺陷ナカラシムルコト必要ナリ

隣接部隊正面ニ對シ指向スヘキ火力、其射撃區域及時機等ハ通常中隊長之ヲ命スヘキモ小隊長ハ之ニ基キ此任務ニ充當スヘキ部隊及其配置竝射撃區域等必要ナル事項ヲ決定セサルヘカラス此際關係部隊トノ協調ヲ特ニ必要トス

3 曲射歩兵砲ノ煙幕射撃

煙幕射撃ハ敵ノ側防機能、観測所等ニ對シ之ヲ制限シ得サルトキ或ハ障碍物破壊掩護ノ爲時トシテ短時間敵ノ目視ヲ遮断スル目的ヲ以テ有利ニ用ヒラルルコトアリ

五、著眼第一百六十二及ハ第二百八十八ヲハ四百三十五ヲ左ノ如ク記ス

五、答案四ノ2ヲ見ヨ

六、著眼 1ハ第二百五十三、第二百五十四、第二百五十五、第二百五十六ヲ左ノ如ク記ス

1(イ)攻撃ノ射撃開始時機

射撃ハ近距離ニ於テ敵兵ヲ確認シ必ス十分ナル效果ヲ豫期シ得ルニ至リ開始スルヲ本則トス精練ナル軍隊ハ縱ヒ敵火ノ下ニ在リテモ未タ射撃ノ效果ヲ十分ニ現シ得サルトキハ自若トシテ妄ニ射撃セサルモノナリ

(ロ)防禦ノ射撃開始ノ時機

敵兵我カ火網内ニ侵入スルヤ小隊長ハ適時小隊ノ射撃開始ヲ命シ各分隊ヲシテ各々其任務ニ基キ射撃ヲ實施セシム
尙ホ特機間ニ於テモ機關銃、歩兵砲ノ如キ有利ナル目標ヲ發見スルカ或ハ戰況之ヲ必要ト認メタルトキハ小隊長ハ分隊ヲ指定シテ一時射撃ヲ行ハシメ又ハ狙撃セシムルヲ可トス(此ノ項ハ

◇歩兵操典◇

四

時間不足セハ記セサルモ可ナリ)

2 機関銃射撃ノ要領

機関銃ハ弾薬ヲ節用シ以テ重要ナル時機ニ其威力ヲ遺憾ナク發揚セシムルコト特ニ緊要ナリ故ニ一目標ヲ射撃スルニ決セハ好機ニ投シ猛烈ナル射撃ヲ以テ瞬時ニ所望ノ效果ヲ獲得シテ直ニ之ヲ中止スルヲ要ス效果十分ナラサル射撃ノ持續ハ徒ラニ弾薬ヲ消費スルニ過キサルモノトス

七、著眼ムハ第二百六十二、第二百八十八ニ依リ

ハ第二百九十一ヲ左ノ如ク記ス

1 射撃開始ノ時機

答案六ノ1ヲ見ヨ

2 隊接部隊ト連絡ヲ確實ニシ最近距離ニ於テ熾盛ナル火力ヲ發揚シ敵ヲ撃滅ス

八、著眼第二百六十五ヲ左ノ如ク記ス

小隊長ハ火線ノ附近ニ我カ機関銃、歩兵砲陣地ヲ占ムルノ通報ヲ受クルカ或ハ既ニ其陣地ヲ占ムルニ至レハ此等火器ヲシテ速ニ射撃ヲ開始シ且成ルヘク永ク現在ノ位置ニ在リテ射撃ヲ繼續シ得シムル爲其射撃方向ヲ顧慮シ分隊ノ間隔ヲ開カシメ或

ハ火線ノ一部ヲシテ一時前進ヲ控ヘシムル等適宜ノ處置ヲ講スヘシ

九、著眼攻撃ハ第二百六十九、第三百十、第七百二十三、防禦ハ第二百八十三、第三百二十二、第七百四十九ヲ合成整理シテ左ノ如ク記ス

(本問題ノ如キハ之ヲ一々搜索スルハ頗ル困難ナリ當所發行ノ見出附歩兵操典ニ依レハ直チニ搜出シ得ル便アリ)

1 攻撃

(イ)小隊ノ援隊

援隊ノ用途ハ主トシテ火線ヲ増加シ又ハ突撃ニ際シ新銃ノ威力ヲ加フルニ在リ

(ロ)中隊ノ豫備隊

豫備隊ノ用途ハ火線ヲ増加シ戰果ヲ擴張シ又ハ敵ノ攻撃ヲ受クル虞アル側面及背面ヲ掩護スルニ在リ

(ハ)大隊ノ豫備隊

豫備隊ハ爲シ得ル限り戰果ノ擴張ニ使用シ狀況ニ依リテハ正面ノ擴張ニ用フ又已ムヲ得サル場合ニ於テハ之ヲ以テ第一線ヲ推進セシムルコト

アリ

2 防禦

(イ)小隊ノ援隊

援隊ハ主トシテ火線ノ補填ニ用ヒ又ハ逆襲ニ使用スルモノトス狀況ニ依リ隣接部隊ノ戰況不利ナル場合之ニ應スル爲使用スルコトアリ

(ハ)大隊ノ豫備隊

豫備隊ハ主トシテ火線ノ補填ニ用ヒ又ハ前線ノ補填ニ使用スルモノトス狀況ニ依リ隣接部隊ノ戰況不利ナル場合之ニ應スル爲使用スルコトアリ

一〇、著眼第二百六十九及第二百八十三ノ前項ヲ左ノ如ク記ス

1 攻撃ニ於ケル用途

援隊ノ用途ハ主トシテ火線ヲ増加シ又ハ突撃ニ際シ新銃ノ威力ヲ加フルニ在リ

2 防禦ニ於ケル用途

◇歩兵操典◇

増	小隊援隊	中隊豫備隊
援隊ヲ火線ニ増加		
スルニハ、		
豫備隊ヲ火線ニ増加スルニハ通常所屬小隊長ノ指揮ヲ以テ火線ヲ構成セシム此場合ニ於テハ、勉メテ第一線ニ在ル小隊ノ間隔ニ插入シ若ハ其翼側ニ延伸スルコトヲ圖ルヘ		
ト分隊トノ間隔ニ插入シ若ハ側ニ延伸ス		

◆歩兵操典◆

六

- 1 長ハ逐次突撃準備ヲ整フヘシ
2 準備スヘキ事項

シト雖	二、多クノ場合各
ケ難シ	小隊ノ混淆ヲ避

法	ノ下部	新ノ分區	時	シテ
二、已ムヲ得サル トキハ伍間に増 加ス	伍間に増加シタル場合ニ於テハ分隊長ハ成ルヘク速ニ新ニ其部下ヲ區分スヘシ	混濁シタルトキハ小隊長ハ成ルヘク速ニ新ニ其ノ部下ヲ區分スヘシ	增加ノ爲各小隊ノ混濁シテ豫備隊ノ用シテ火線ニ参加スルコトアリ	時トシテ豫備隊ノ混濁シタルトキハ小隊長ハ成ルヘク速ニ新ニ其ノ部下ヲ區分スヘシ

一三、著闘第二百七十五参照ノコト

- 1 障碍物通過前
AトBトニ對シ手榴弾ヲ以テ著發射撃（彈種ハ曳火手榴弾）

2 突撃後
Cニ對シ煙幕射撃

- 一四、著闘第二百七十三ヲ基礎トシ左ノ如ク記スヘシ

- 1 要旨 戰闘漸次進捗シテ敵ニ近接スレハ小隊

- 1 小隊ハ「イ、ロ、ハ、ニ」ノ敵陣地ヲ突破シ「ホ、ヘ、ト」ノ陣地ニ向ヒ突進セントス
2 各分隊ハ現在地ニ於テ突撃ヲ準備スヘシ
3 第二分隊ハ「イ」ニ突入シ「ロ」ヲ突破シ「ホ」ニ向ヒ突進スヘシ
4 第五分隊ハ第一、第二分隊ニ協力スヘシ
- 命令
ノ一例ヲ掲ク
- （ハ）要スレハ之カ制壓破壊竝利用ニ關スル意見
ヲ附シ之ヲ中隊長ニ報告ス
（ロ）特ニ我突撃ヲ確ム
（イ）機ヲ失セス
（ホ）敵陣ノ狀況ヲ詳ニ搜索ス
（ロ）最モ防害スヘキ敵ノ位置及狀態、障礙物ノ程度竝敵陣ノ弱點ヲ確ム
（ハ）要スレハ之カ制壓破壊竝利用ニ關スル意見
ヲ附シ之ヲ中隊長ニ報告ス
（ロ）特ニ我突撃ヲ確ム
（イ）機ヲ失セス
（ホ）敵陣ノ狀況ヲ詳ニ搜索ス
（ロ）最モ防害スヘキ敵ノ位置及狀態、障碍物ノ程度竝敵陣ノ弱點ヲ確ム

第一分隊ハ「ハ」ニ突入シ「ト」ニ向ヒ突進スヘシ

- 第三分隊ハ「ニ」ニ突入シ「ト」ニ向ヒ突進スヘシ
援隊ハ第一様ニ續行スヘシ

- 擲弾筒ハ突入直前主トシテ「ロ」附近ニ煙幕ヲ構成シ爾後左翼方面ニ協力スヘシ

一五、著闘第二百七十三ヲ左ノ如ク記ス

- 戰闘漸次進捗シテ敵ニ近接スルニ從ヒ小隊長ハ逐次突撃準備ヲ整フ即チ左ノ如シ

1、機ヲ失セス敵陣ノ狀態ヲ詳ニ搜索シ特ニ（1）

- 我突撃ヲ最モ妨害スヘキ敵ノ位置及狀態、（2）障礙物ノ程度竝敵陣地ノ弱點ヲ確メ要スレハ之カ制壓、破壊竝利用ニ關スル意見ヲ附シ之ヲ中隊長ニ報告ス

2、所要ニ應シ部下分隊ノ配置ヲ定メ左ノ件ヲ示ス

- 小統分隊ニ 寧取スヘキ目標
輕機分隊ニ 其協力スヘキ小統分隊ヲ各分隊ニ 突擊後ノ前進方向ヲ示ス
3、擲弾筒ヲ部署ス
4、要スレハ突擊部署ニ應セシムル如ク自ラ障碍

◆歩兵操典◆

七

◆歩兵操典◆

八

示シ且適時兩種分隊ノ協同竝擲弾筒ノ射撃ニ開シ

指示ヲ與ヘ要スレハ一部隊ヲ以テ尙抵抗ヲ持續スル敵ノ翼側ニ迫ラシム等炮メテ部下分隊ノ掌握ヲ確實ニシ且方向ノ維持ニ炮メ主力ヲ以テ一意突進ニ努力スヘシ

擲弾筒ハ猛烈ナル射撃ニ依リ突撃部隊ニ協力シ其將ニ敵陣ニ突入セントスルヤ機ヲ失セス前進シ敵陣内ノ攻撃ニ參加スルヲ要ス之カ爲炮メテ小隊長ノ附近ニ位置シ小銃分隊或ハ輕機關銃分隊ニ最モ危害ヲ與フル敵ヲ猛射シ又要スレハ敵ノ機關銃ノ直前ニ一時煙幕ヲ構成シ小銃分隊ノ突撃ヲ容易ナラシムル等機敏ナル行動ト適切ナル射撃トニ依リ小銃分隊ヲシテ敵陣深ク侵入シ得シムヘシ

一七、著眼 第二百八十八第三項及第二百九十二項

ヲ左ノ如ク記スヘシ

1 阵地前ノ逆襲

輕舉ニ陣地ヲ捨テテ出撃スルハ戒メサルヘカラス然レトモ陣地前至近ノ距離ニ於テ我火力ノ爲萎靡混亂セル敵ヲ驅逐スルヲ有利トスル場合ニ於テハ小隊長ハ決意逆襲ヲ敢行ス

備隊ヲ以テ猛烈ナル射撃ト果敢ナル突撃トニ依リ逆襲ヲ斷行シ敵ヲ擊滅スヘシ此際敵ノ側面若ハ背後ニ向ヒ之ヲ實施シ得ハ其效果大ナルモノトス
敵兵我カ陣地ニ侵入シタル場合ニ於テハ狀況ニ依リ豫備隊ノ長ハ獨断逆襲ヲ決行スルヲ要スルコトアリ

一九、著眼 第二百九十五ヲ次ノ如ク記ス

1 図示スレハ左ノ如シ



二〇、著眼 第二百九十八ヲ左ノ如ク記ス

右ヨリ第一、第二小隊第一線、二線配置
第三小隊第二線、一線配置
開ケ



2 阵内ノ逆襲

敵兵陣内ニ侵入セハ機ヲ失セス敵ノ混亂ニ乘シ果敢ナル逆襲ヲ決行シ陣地ヲ奪回シ飽ク迄之カ保持ニ努ム

逆襲ノ爲ニハ通常援隊ヲ用フ此ノ際火線ニ在ル分隊ハ依然當面ノ敵ヲ猛射シ爲シ得ルハ侵入セル敵ニ對シ射撃ヲ指向シ逆襲ヲ成功セシム

状況ニ依リ援隊ハ獨斷逆襲ヲ實施シ機ヲ逸セサルコト肝要ナリ

一八、著眼 第二百八十八ノ第三項、第二百九十及第三百二十七ノ第二項並第三百二十八ノ第二項ヲ記述スヘキモノニシテ何レモ同一文ナリ（本問題ノ如キ他ノ條文ト關係ヲ有スルモノヲ研究スルニハ當所發行ノ見出附各種典範令ヲ最モ便トス）

1 小隊ノ逆襲ニ就テハ答案一七ヲ見ヨ

2 中隊ノ逆襲

(イ)陣地前ノ逆襲
答案一七ノ1ニ同シ

(ロ)陣内ノ逆襲
敵兵我カ陣地ノ一部ニ侵入セハ其混亂ニ乘シ豫

◆歩兵操典◆

一〇

而シテ第一線ニ幾何ノ小隊ヲ出スヘキヤハ狀況ニ依ルモ通常最初ハ少クモ一小隊ノ豫備隊ヲ控置スルヲ必要トス

獨立セル中隊ハ概未獨立セル大隊戰闘ノ要領ニ準シ戰闘スルモノトス

二一、善戦 第三百七ヲ次ノ如ク記ス

交戦中敵騎兵或ハ飛行機ノ襲撃ヲ受クルム方リテハ直接之ニ對スルヲ要スル部隊ハ沈著シテ射擊スヘク其他ノ部隊ハ依然其任務ニ服シ之ト交戦ヲ企ツヘカラス飛行機ヲ射擊スルニハ通常直距離六百米以下ニ於テ少クモ步兵一小隊、輕機關銃六銃ヲ充當セサルヘカラス然レトモ單ニ敵機ノ低空ニ於ケル自由ナル行動ヲ妨害スルヲ以テ足レリトスルカ如キ狀況ニ在リテハ其以下ノ兵力ヲ以テスルモ其目的ヲ達シ得ルモノトス此際友軍ニ危害ヲ及サル如ク注意スルコトニ注意スヘシ

徒步セル騎兵ニ對シテハ比較的僅少ノ歩兵ト雖成功ヲ期シ得ヘシ此際特ニ我力側背ヲ警戒シ且敵ノ手馬ヲ射擊スルコトニ注意スヘシ

砲兵ニ對シ戰闘スルトキハ遠ニ我力有效射擊ヲ行

二二、善戦 第三百八ヲ左ノ如ク記ス

瓦斯攻撃ヲ受クルカ或ハ之カ警報ヲ聞クカ若ハ撤毒シアルヲ豫察シタルトキハ中隊長及各幹部ハ機ヲ失セス部下ニ防毒面ヲ裝著セシムルコトニ注意スヘシ此際指揮官ノ號令、命令ノ徹底甚ダ困難ナルヲ以テ指揮官ハ記號等ヲ適切ニ應用シ部下ハ之ニ注意シ能ク戰闘ヲ遂行セサルヘカラス

二三、善戦】ハ第三百二十一、2ハ第四百六十五ヲ左ノ如ク記スヘシ

1(イ)要旨 第一線ニ川スヘキ兵力ノ區分及配置ハ陣地前方ニ對スル火制ヲ主眼トシ専用部隊ト相俟チテ能ク鞏強ナル戰闘ヲ爲シ得ル如ク狀況特ニ地形ニ應シ小隊若ハ若干分隊毎ニ適宜ノ距離間隔ヲ置キ一支點ヲ成形セシムルモノトス

(ロ)要領 支點ノ配置ハ中隊ノ火網構成ヲ主トシ地形ニ適應スル如ク之ヲ定ムヘキモ専用部隊

深横廣ニ疎開シテ敵火ノ損害ヲ避ケ併セテ間隙射擊及相互ノ支援ヲ容易ナラシメ又縱ヒ敵兵我力陣地ノ一部ニ侵入シタル場合ニ於テモ隣接支點相互ニ協同シ若ハ豫備隊ノ増援ニ依リ之カ奪回若ハ破綻ノ防止ニ適スルコトヲ考慮スルヲ必要トス而シテ支點ノ間隔ヲ通シテ射擊スル機關銃、步兵砲等アルトキハ能ク其威力ヲ發揮シ得シムル如ク相互ノ協調ヲ圖ルコト必要ナリ

狀況特ニ地形ニ依リ支點外ニ別ニ一部ヲ配置シ火網ヲ補足スルヲ要スルコトアリ

2(イ)要旨 射擊目標ハ任務ニ基キ我歩兵ニ最モ危害ヲ與フルモノ若ハ速ニ殲滅スルヲ要スルモノノ如キ戰術上ノ價值ニ從ヒ選擇スヘキモノトス

(ロ)目標 之カ爲其目標ハ通常敵ノ自動火器、歩兵砲又ハ濃密ナル散兵等トス然レトモ狀況ニ依リ敵ノ存在ヲ推定スル某地域或ハ砲兵等ニ射撃ヲ行フヲ要スルコトアリ

二四、善戦 第三百三十七ヲ左ノ如ク記ス

1 要旨 夜間ニ於ケル中隊ノ攻擊隊形選定ノ要

◆歩兵操典◆

二五、善戦 第三百三十七ヲ左ノ如ク記ス

1 攻擊隊形ノ一例左圖ノ如シ

一一

◆歩兵操典◆

一一

暗夜ニ於ケル攻撃隊形ノ一例



ハ重慶セルモノ

運動比較的便ニシテ正面ニ對シ
銃劍使用ノ爲ニモ容易ニ應レ
得、敵火ノ損害モ小ナリト雖モ
指揮掌握便ナラス

ヘシ

月明ノ夜ニ於ケル攻撃隊形ノ一例



ヘシ

2 各種隊形ノ利害

(イ) 橫隊及中隊縱隊

指揮掌握概シテ便ニシテ正面ニ對シ多クノ銃劍

フ 使用シ得ルモ運動容易ナラス、敵火ノ損害ハ

比較的小ナリ

(ロ) 側面縱隊、併立縱隊

指揮掌握便ニシテ運動容易ナリト雖正面ニ對シ

多クノ銃劍ヲ使用スルヲ得ス又敵火ノ損害大ナ

ヘシ

(ハ) 分隊ノ側面縱隊ヲ併列セル小隊ヲ併列若ク

二六、警報第三百三十七ヲ左ノ如ク記スヘシ
1 攻擊隊形選定ノ要領

答案二五ノ12ヲ見ヨ

2 輕機關銃分隊ノ用法

輕機關銃分隊ハ主トシテ奪取セル陣地ノ確保ニ用
フヘキモノナルモ時トシテ戰闘中側方ヨリスル敵
ノ逆襲部隊ニ對シ機ニ應シ射擊セシムルヲ可トス
ルコトアリ而シテ其位置ハ小隊毎ニ其後方ニ續行
セシメ又ハ中隊ノモノヲ一團トシテ其後方ニ前述

- セシムル等之カ使用ヲ顧慮シ定ムルモノトス
- 3 鋸彈筒ノ用法
- 鋸彈筒ハ敵陣地ヲ奪取セル後敵ノ恢復攻撃ニ備フ
ル爲用フルヲ可トス

二七、答案二六ノ圖ヲ見ヨ

二八、警報第三百三十八ヲ左ノ如ク記ス

夜間ノ攻撃ニ在リテハ中隊長ハ中隊ノ先頭ニ位置
シ記號ニ依リ中隊ヲ指揮誘導シ通常火戦ヲ交フル
コトナク敵前至近ノ距離ニ近接シ不意ニ敵陣地ニ
突入スルヲ可トス之カ爲要スレハ豫メ裝填ヲ禁止
スヘシ
攻撃前進中敵ノ斥候又ハ監視兵等ニ遭遇セハ警戒
ノ爲配置セラレアル我カ斥候ハ之ヲ急襲シ又中隊
長ハ若干ノ斥候群ヲ豫メ手裡ニ存シ所要ニ應シ之
フ使用スル等適宜ノ處置ヲ爲シ中隊ハ特ニ團結ト
静肅トヲ保持シ之ニ關與スルコトナク極力企圖ノ
秘匿ニ勉メ若突入前敵ニ發覺セラルルニ至レハ迴
避スルコトナク突撃ヲ斷行スヘシ
突撃ハ喇叭ヲ吹奏スルコトナク之ヲ行フモノトス
但時トシテ喊聲ヲ發セシムルコトアリ

- 3 支點ノ距離間隔
- 支點ノ距離間隔ハ敵ヲシテ此間ノ地區ニ於テ自由
ナル行動ヲ取リ得シメサル爲距離間隔大ナルカ又

◆歩兵操典◆

一三

◆步兵操典◆

一四

ハ地形其他ノ關係上必要ナル部分ニハ特ニ一部隊ヲ配置シテ其缺ヲ補ヒ已ムヲ得サル場合ニ於テハ一部支點ノ位置ヲ移動スルヲ必要トス

三〇、警戒第二百二十ヲ左ノ如ク記ス

射法ノ選定ハ狀況特ニ目標ノ景況ニ依ルモノナルカ

1 通常數發每ノ點射ヲ用フルモノトス

(理由)精密ナル射擊ニ依リ命中ヲ良好ナラシムルト共ニ銃ノ愛護、彈薬ノ節用上有利ナルヲ以テナリ

一點目標ニ對シテハ數發每ノ點射ヲ反復ス

廣正面ノ目標ニ對シテハ數發每ノ點射ヲ移動ス

2 連續點射 時間現出スル有利ナル一點目標ニ對シ行フ

3 蓄射 時間現出スル濃密ニシテ廣正面ヲ有スル大ナル目標ニ對シ一時之ヲ行フ

三一、警戒第三百二十三中ヨリ左ノ如ク記ス

1 監視部隊ノ目的 警戒部隊撤退後ニ於テモ敵ノ搜索ヲ妨害シテ我力陣地ヲ隠匿シ且敵情ノ監視ヲ繼續スルニ在リ

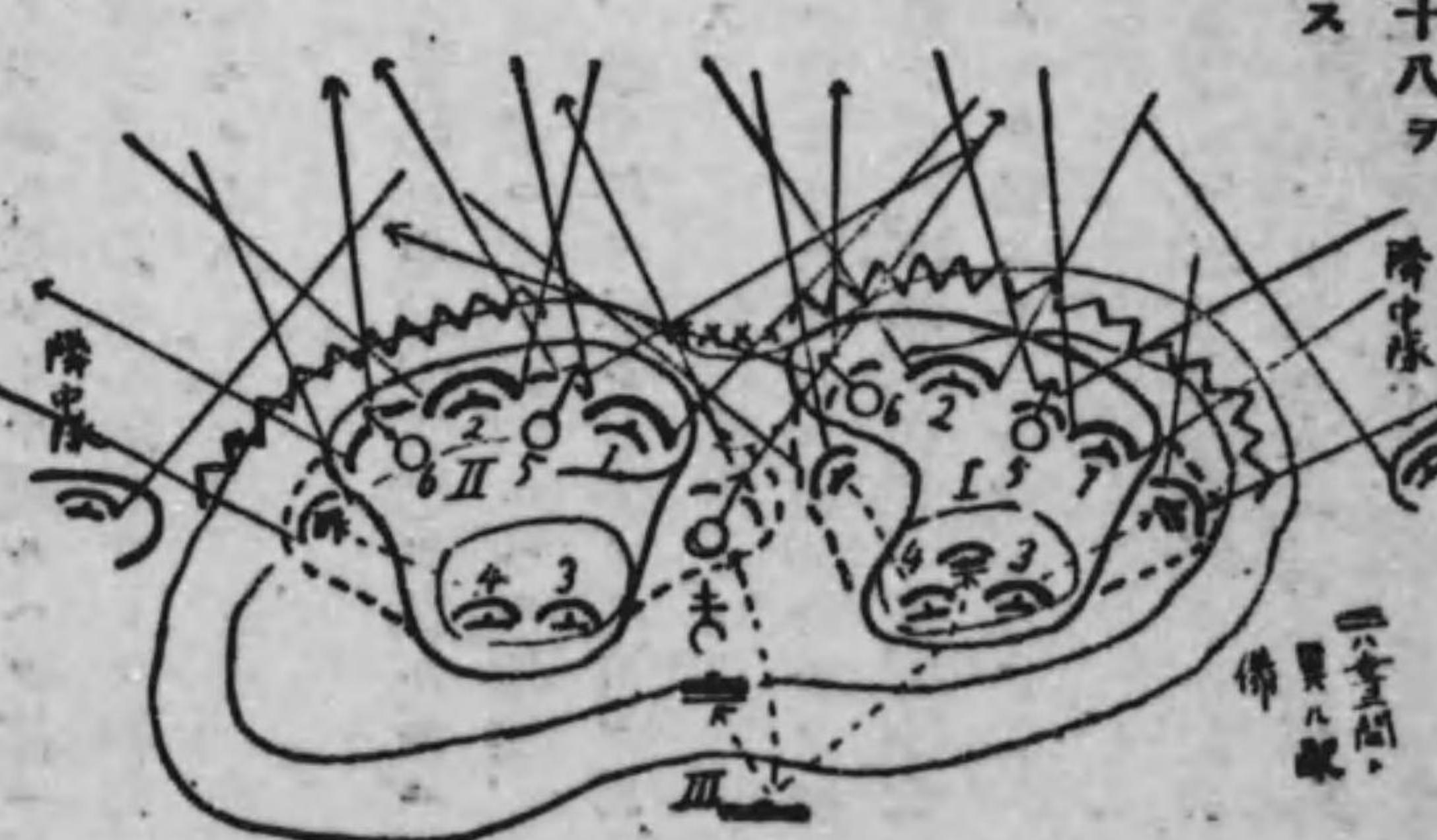
三二、警戒第三百四十六、第三百四十七、第三百四十八ヲ左ノ如ク記ス

1 支點ノ距離間隔

支點ノ距離間隔ハ敵ヲシテ此間ノ地區ニ於テ自由

ナル行動ヲ取り得シメサル爲原離間隔大ナルカ又ハ地形其他ノ關係上必要ナル部分ニハ特ニ一部隊

三三、警戒第三百四十八ヲ参照左ノ如ク圖示ス



三四、警戒第三百七十五及第四百七十九ヲ左ノ如ク記ス

1 第一線歩兵小隊長

突入ニ引續キ通常縱深アル配備ヲ突破スルヲ要スルニ至ルヲ以テ小隊ハ敵ヲシテ抵抗ノ達ナカラセス逆襲シ或ハ側背ニ來襲スヘキ敵ニ備フル爲適宣之ヲ火線ノ後方ニ近接セシム

◆步兵操典◆

一五

ア配置シテ其缺ヲ補ヒ已ムヲ得サル場合ニ於テハ一部支點ノ位置ヲ移動スルヲ必要トス

2 火網ノ決定

火網ハ至近距離ニ於テ燃盛ナル火力ヲ發揚シ得ル如ク定ムヘキモノニシテ支點ノ守兵ハ専ラ當該支點ノ防禦ニ任セシメ支點相互ニ火力ヲ以テ支援セシメサルヲ本旨トス而シテ地形上特ニ一部ノ火力ヲ隣接支點正面ニ指向セシムルヲ要スル場合ニ於テハ特ニ相互ノ連繋ヲ密ニシ好機ニ投シ有效ナル射撃ヲ行ヒ得ル如ク處置スルコト緊要ナリ

夜間射撃ノ爲ニハ友軍相互ニ危害ヲ及ササル如ク嚴密ニ規定スルヲ要ス

3 支點ノ配備

支點ハ射撃威力ヲ發揚スルニ妨ナキ限り勉メテ兵力ヲ集結シ指揮掌握ヲ確實ニシ以テ白兵戰ヲ有効ニ實施シ得ルコトヲ考慮スルヲ要ス此際敵ノ包囲的行動ヲ阻止センカ爲一部ヲ翼後ニ梯次ニ配置スルヲ有利トスルコト少カラス而シテ援隊ハ機ヲ失セス逆襲シ或ハ側背ニ來襲スヘキ敵ニ備フル爲適宣之ヲ火線ノ後方ニ近接セシム

◇步兵操典◇

一六

シムル如ク一意命セラレタル方向ニ前進シテ敵陣深ク侵入シ隣接部隊縱ヒ敵ノ爲阻止セラレタル場合ニ於テモ極力前進ヲ繼續スヘシ此間小隊長ハ戰闘ノ推移ニ應シ逐次ニ小隊ノ奪取スヘキ目標ヲ示シ且適時兩種分隊ノ協同並擲弾筒ノ射擊ニ關シ指示ヲ與ヘ要スレハ一部隊ヲ以テ尙抵抗ヲ持續スル敵ノ翼側ニ迫ラシムル等勉メテ部下分隊ノ掌握ヲ確實ニシ且方向ノ維持ニ勉メ主力ヲ以テ一意突進ニ努力スヘシ

擲弾筒ハ猛烈ナル射擊ニ依リ突擊部隊ニ協力シ其將ニ敵陣ニ突入セントスルヤ機ヲ失セス前進シ敵陣内ノ攻撃ニ參加スルヲ要ス之カ爲勉メテ小隊長ノ附近ニ位置シ小銃分隊或ハ輕機關銃分隊ニ最モ危害ヲ與フル敵ヲ猛射シ又要スレハ敵ノ機關銃ノ直前ニ一時煙幕ヲ構成シ小銃分隊ノ突擊ヲ容易ナラシムル等機敏ナル行動ト適切ナル射擊トニ依リ小銃分隊ヲシテ敵陣深ク侵入シ得シムヘシ

2 機關銃小隊長ノ協力

敵陣内ニ於ケル攻撃ニ方リテハ機關銃ハ敵ノ逆襲部隊又ハ我カ歩兵ニ最モ危害ヲ與フルモノヲ射擊

シ極力突進スル友軍歩兵ヲ支援スルヲ要ス此際各指揮官ハ獨斷事ニ當リ機關銃ノ特性ヲ遺憾ナク發揮セサルヘカラス

三五、著眼 第四百四十四ヲ左ノ如ク記ス

1 要旨
中隊長ハ大隊長ヨリ任務ヲ受クルヤ成ルヘク速ニ所要ノ偵察ヲ行ヒ其結果ニ基キ小隊長ヲシテ細部ノ偵察ヲ爲サシムルモノトス

2 偵察ノ爲先行

偵察ノ爲中隊長(小隊長)ハ中隊(小隊)ヲ離ルルニ方リ通常其引率ヲ先任者ニ命シ到達スヘキ地點、通路若ハ行進方向、隊形等ヲ示シ所要ノ人員ヲ歸ヘ先行スルモノトス

陣地偵察ニ方リテハ我カ陣地ヲ敵ニ察知セシメサルコト緊要ナルヲ以テ偵察間其隨從者ヲ後方適宜ノ地點ニ位置セシムルヲ要スコト少カラス

3 偵察事項

中隊長ハ彼我ノ狀況特ニ地形ヲ觀察シ概ネ左記事項ニ關シ所要ノ偵察ヲ行フト共ニ大隊長及關係部隊トノ連絡法等ヲ定ムルモノトス

中隊長ハ彼我ノ狀況特ニ地形ヲ觀察シ概ネ左記事項ニ關シ所要ノ偵察ヲ行フト共ニ大隊長及關係部隊トノ連絡法等ヲ定ムルモノトス

背景ニ顧慮シ又偽裝ヲ施ス等極力其所在ヲ謁匿スルコト緊要ナリ

2 防禦ニ於ケル陣地

機關銃ノ陣地ハ勉メテ同一陣地ヨリ其擔任スル全地域ノ敵ニ對シ射擊ヲ指向シ得ル如ク選定スルヲ有利トスルモノ同一陣地ヨリ射擊シ能ハサル場合ニ於テハ豫メ數箇ノ陣地ヲ準備シ又敵ノ集中火ヲ避クル爲同一目的ノ爲ニモ別ニ陣地ヲ準備シ置クコト必要ナリ而シテ一地ニ在リテ永ク射擊ヲ繼續シ或ハ敵ノ砲彈下ニ永ク潛伏スヘキ重要ナル陣地ユハ狀況ノ許ス限り特ニ堅固ナル掩體ヲ構築スルコト緊要ナリ

陣地ハ勉メテ敵ノ觀察ヲ避クル如ク巧ニ偽裝ヲ施スヲ要ス

機關銃ノ陣地ハ其射擊ニ妨ナキ限り勉メテ火線ト離隔セシメ且巧ニ地形ヲ利用シテ之ヲ配置シ火線ト同時ニ損害ヲ被ラサルコトニ注意スルコト緊要ナリ

三七、著眼 第四百四十五乃至第四百四十八中ヨリ左ノ如ク記ス

中隊ノ進路、卸下スヘキ地點、陣地、敵陣地ノ状態、射擊スヘキ目標(區域)、射距離、目標指示ノ基點、彈藥小隊ノ位置、工事ノ要否、偽裝ノ方法、爾後豫想スル陣地ニ對スル陣地變換ノ難易、附近ニ豫備陣地ノ有無、觀測所等
小隊長ノ偵察ハ前項ニ準スルノ外進入法要スレハ彈藥分隊ノ位置、彈藥ノ補充路等ニ就キ之ヲ行フモノトス

三六、著眼 第四百四十五及第四百八十九ヲ左ノ如ク記ス

1 攻撃ニ於ケル陣地

陣地ハ任務及狀況ニ適合シ不憲ニ射擊ヲ開始スルニ適シ友軍ヲ超過シテ成ルヘク永ク敵ヲ斜射若ハ側射シ得ルヲ可トス之カ爲能ク敵眼ニ遮蔽シタル制高地點ハ多クハ此目的ニ適ス然レトモ完全ナル陣地ヲ發見スルハ實際ニ於テ多クハ因難ナルヲ以テ強ヒテ最良ノ陣地ヲ求メントシテ却テ戰機ヲ逸スルコトアルヘカラス

陣地ハ著明ナル地物ノ附近ニ選定スルヲ避ケ敵ノ觀測困難ナル地點ヲ選ヒ遮蔽物、蔭影等ヲ利用シ

◆步兵操典◆

一七

◆步兵操典◆

一八

1 一般ノ場合

答案三六ヲ見ヨ

2 間隙射擊及最前線ニ進出ラ要スルトキ

第一線部隊長ト連絡シテ當面ノ狀況ヲ明ニシ任務達成ニ支障ナカラシム

3 他大隊内ニ陣地ヲ占領スルヲ有利トスル場合當該部隊ト協定スルヲ可トスルモ然ラサルトキハ速ニ通報スヘシ

4 間接照準ニ依ル陣地

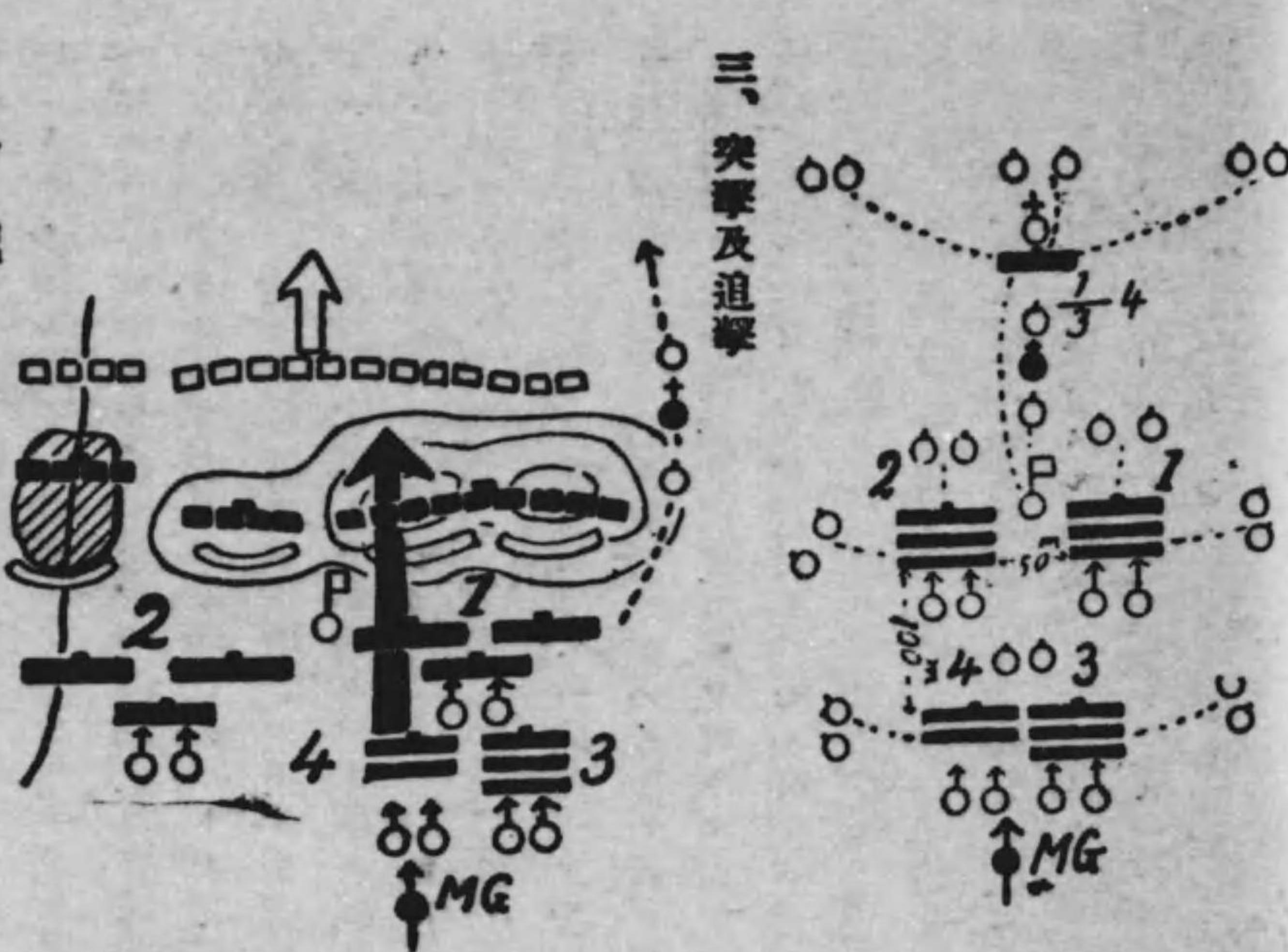
測定所、観測所、遮蔽角及中間地物等ニ友軍トノ關係ヲ顧慮スルヲ要ス

三八、答案二四ノ2ヲ見ヨ

三九、著眼第七百十五ヲ左ノ如ク記ス

大隊長ハ歩兵砲ヲ配屬セラレタルトキハ主トシテ敵ノ機関銃要スレハ歩兵砲ヲ撲滅又ハ制壓セシム

其他平射歩兵砲ニハ敵ノ戦車ヲ射撃セシメ又曲射歩兵砲ニハ掩護物ノ後方ニ對スル射撃及時トシテ素要ナル死角ヲ消滅スル爲他ニ手段ナキ場合ノ射撃、短時間敵ノ目視ヲ遮断スル爲煙幕射撃ヲ行ハ



敵ニ遠キ場合ハ運動容易ニシテ指揮掌握ニ便ナル隊形即チ縱隊ヲ用ヒ敵ニ近接スルニ從ヒ横廣隊形

2 附記

敵ニ遠キ場合ハ運動容易ニシテ指揮掌握ニ便ナル隊形即チ縱隊ヲ用ヒ敵ニ近接スルニ從ヒ横廣隊形

◆步兵操典◆

シメ且弾薬ノ關係之ヲ許セハ障碍物ヲ破壊スル爲

砲兵火ヲ補足シ或ハ砲兵ニ期待シ得サル緊要ナル

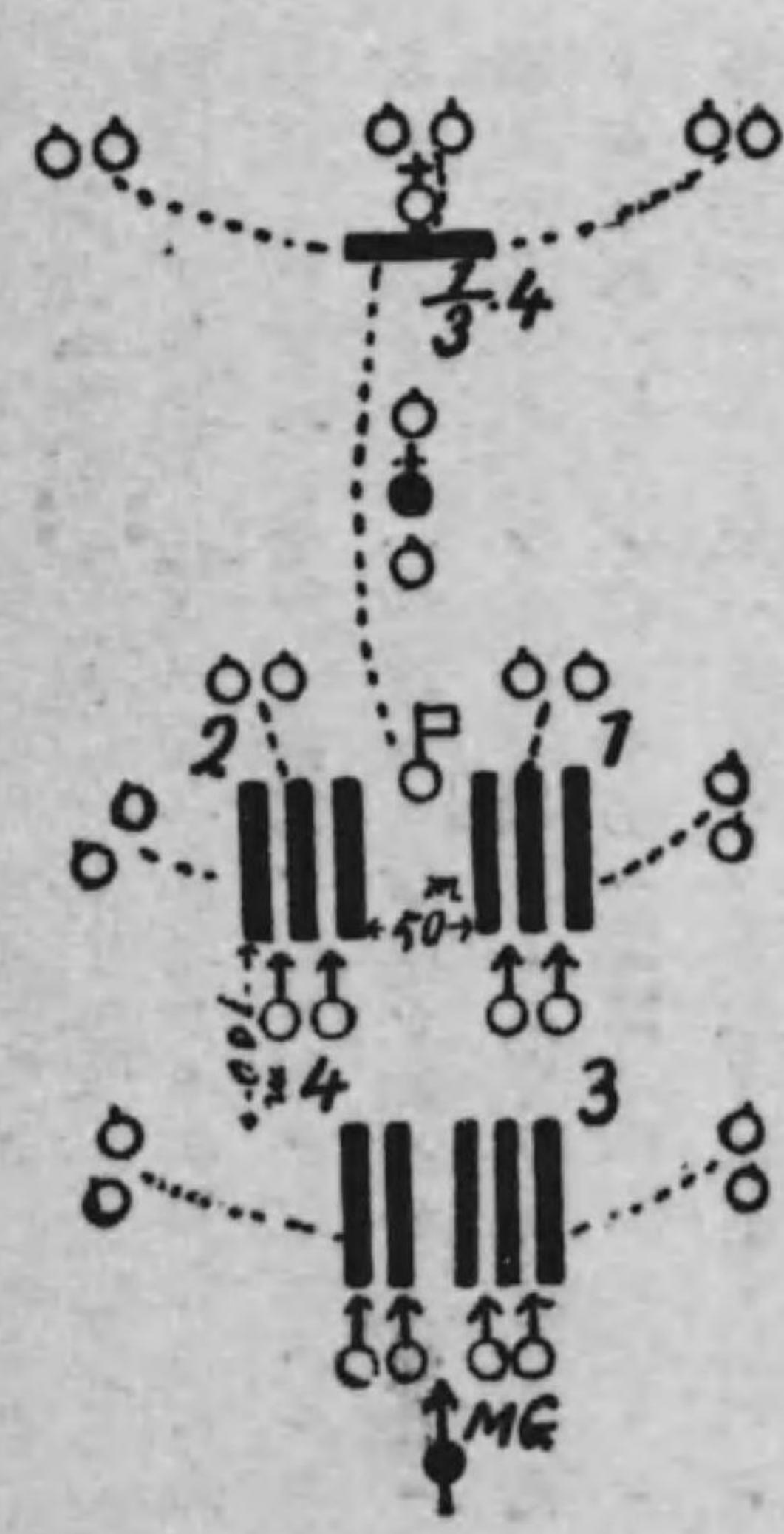
小局部ノ障碍物破壊ニ任セシムルコトアリ

兩種歩兵砲ヲ統一指揮セシムヘキヤ否ヤハ狀況ニ依ル

教練第三十七ヲ準用スヘキモノニツキ之ヲ綜合シテ左ノ如ク記ス

1 攻擊要領ノ一例左圖ノ如シ

一、出發時



ニ移リ以テ敵火ノ損害ヲ減少シ多クノ銃剣ヲ使用スルニ便ナル如クナスモノトス

四一、著眼第七百八十六乃至第七百八十九ヲ次ノ如ク記スヘシ

1 實施上著意スヘキ要件

戰車ニ對スル戰闘ニ在リテハ速ニ敵戰車ノ行動ヲ察知シ之ニ對抗スルノ諸準備ヲ整ヘ指揮官以下特ニ沈著豪膽之ニ對スルコト緊要ナリ

戰軍ニ對シテハ天然ノ地形、地物ヲ利用スルノ外適切ナル人工ノ障碍物特ニ地雷ノ設置等ニ依リ其行動ヲ阻止スルコトニ勉メテルヘカラス而シテ偶裝ハ戰車ノ攻擊ヲ因難ナラシムル爲特ニ價値アルモノトス

2 戰車ヲ伴フ敵ニ對スル戰闘ノ主眼

戰車ヲ伴フ敵ニ對シテハ戰車ト協同シテ前進スル敵歩兵ヲ撲滅スルヲ主眼トス之カ爲戰車ニ對シテハ對戰車部隊ヲ指定シテ之ニ當ラシメ其他ノ部隊ハ戰車ヲ顧ミルコトナク依然敵歩兵ニ對シ戰闘シ苟モ混亂ニ陥リ又ハ一地ニ壠集スルカ如キコトアルヘカラス而シテ對戰車部隊ハ通常後方部隊ヨリ

諸々所要ノ兵力ヲ指定シ要スレハ火線ニ在ル部隊ノ一部ヲ以テ之ニ充テ且其兵力ハ勉メテ之ヲ節約スルヲ要ス

3 対戦車射撃

戦車ヲ射撃スルニ方リ小銃、輕機関銃及機関銃ニ在リテハ敵戦車至近ノ距離ニ達シタルトキ其展望孔又ハ照準孔ニ對シ射彈ヲ集中シ平射歩兵砲ニ在リテハ確實ニ效力ヲ期シ得ル如ク近距離ニ到ルヲ待チ之ヲ射撃スルモノトス

4 爆薬攻撃

爆薬類ヲ以テ戦車ヲ攻撃スルニヘ成ルヘク戦車ヨリ行フ射撃ノ死角内ニ突進シ或ハ地物ニ身ヲ潛メテ其近接ヲ待チ軌道ヲ爆破スルヲ可トス而シテ故障又ハ地形等ニ依リ其行動遲緩セル時機ニ乘スルヲ得ハ最モ有利ナリ

其他敵ノ戦車上ニ跳乗リテ銃砲ノ操作ヲ妨害シ或ハ展望孔又ハ照準孔ヲ閉塞スル等機宜ニ適スル勇敢ナル行動ヲ決行スルヲ要ス

四二、著眼 第七百八十七ヲ左ノ如ク記ス

戦車ヲ伴フ敵ニ對シテハ戦車ト協同シテ前述スル

四五、1、著眼第二百六ヲ引用記述ス

手榴弾ハ之ヲ最初ノ突擊ニ使用スルハ必シモ有利ナラス寧ロ突入後ノ戦闘ニ使用スルヲ有利トルコト多シ而シテ何レノ場合ヲ間ハス手榴弾ヲ以テ戦闘ヲ交ヘタル後突入セントスルカ如キハ概不敗ニ終ルモノニシテ通常其爆裂ノ瞬時ヲ利用スルヲ可トス

2、著眼第二百四十四ヲ引用記述ス

敵兵若我カ小隊ノ陣地ニ侵入スルモ其位置ヲ固守シ小銃分隊ノ逆襲ニ協力シ敵ヲ撃滅スヘシ敵兵縱ヒ分隊ノ陣地ニ突入シ或ハ側面ニ迫ルモ其位置ヲ死守シ最後ノ一彈マテ射撃ヲ繼續スヘシ此際弾薬手ハ小銃、拳銃ヲ使用シ其他各種ノ手段ヲ盡シテ奮闘シ射手ヲシテ他ニ顧慮スルコトナク射撃シ得シメサルヘカラス

3、著眼第四百十八ヲ引用左ノ如ク記述ス
夜間射撃ハ狀況ニ依リ設備法ヲ異ニスルモ其良否ハ射撃效力ニ多大ノ影響ヲ及スモノナルヲ以テ特ニ左ノ件ニ注意スルヲ要ス

所望ノ方向ニ對シ脚ヲ正シク固定スルコト

◆歩兵操典◆

杭又ハ燈火等ヲ以テ高低及方向照準ヲナシ得ル如ク標示シ薙射ノ角度ヲ限定スルコト
照準、装填及故障ノ排除等ノ爲メ照明裝置ヲナスコト
晝間此設備ヲナシ得サル時ハ夜間之ヲナスモノト
斯此際敵ニ察知セラレサル如ク注意スルコト必要ナリ

四六、著眼第二百二十五乃至第二百二十七及第二百四十四ヲ参照左ノ如ク記述ス

1、輕機関銃分隊ノ有スル小隊ヲ使用スヘキ時機ハ分隊長之ヲ定ムルヲ通常トス然レトモ小銃ヲ携帶セル弾薬手ハ自衛ノ爲狀況急ヲ要スルトキハ躊躇スルコトナク之ヲ使用スヘキモノトス

2、輕機關銃分隊ノ有スル小銃ハ自衛ノ爲使用スル旨トス、然レトモ突擊ノ際若クハ敵ノ逆襲ニ對スル時等特ニ火力ヲ増大スル爲メ之ヲ用フルコトアリ

3、輕機關銃破壊セラレタル場合ニ於テハ分隊長ハ直ニ小銃ヲ使用ス

4、故障ヲ生シタル場合ニ於テ直ニ小銃ヲ使用スヘ

敵歩兵ヲ撃滅スルヲ主眼トス之カ爲戦車ニ對シテハ對戦車部隊ヲ指定シテ之ニ當ラシメ其他ノ部隊ハ戦車ヲ顧ミルコトナク依然敵歩兵ニ對シ戰闘シ苟モ混亂ニ陥リ又ハ一地ニ聚集スルカ如キコトアルヘカラス而シテ對戦車部隊ハ通常後方部隊ヨリ豫メ所要ノ兵力ヲ指定シ要スレハ火線ニ在ル部隊ノ一部ヲ以テ之ニ充テ且其兵力ハ勉メテ之ヲ節約スルヲ要スヘシテ之ニ對應スルノ策無カラシムルコト緊要ナリ

四三、著眼綱領第九ヲ引用記述ス

敵ノ意表ニ出ツルハ機ヲ制シ勝ヲ得ルノ要道ナリ故ニ旺盛ナル企圖心ト追隨ヲ許ササル創意ト神速ナル機動トヲ以テ敵ニ臨ミ常ニ主動ノ位置ニ立チ全軍相戒メテ嚴ニ我カ軍ノ企圖ヲ祕匿シ疾風迅雷敵ヲシテ之ニ對應スルノ策無カラシムルコト緊要ナリ

四四、著眼第百四及第百十ヲ参照シ左ノ如ク記述ス
1、夜間ノ行進、(静肅行進法被服裝具ノ裝着法兵器ノ取扱法及敵ノ照明火ニ對スル動作)

2、夜間突擊

3、聽力視力ノ養成

4、夜間射撃

5、距離目測法

步兵操典

三

キヤ否ヤハ狀況及故障ノ種類竝其程度ニ依リテ定

5、防禦ニ於テ敵兵分隊ノ陣地ニ突入シ或ハ側背
迫リシトキハ小銃携帶ノ彈薬手ヘ直ニ小銃ヲ使用
ス

擲弾筒ハ近接火戦ニ用フ
1、用途、攻撃ニ於テハ小隊ノ突撃援助及夜間敵陣
地雷取扱及爆破ノ爲ニ用ニ又寺トンア里基受限ニ用

フルコドアリ防禦ニアリテハ主トシテ小銃及輜機
開銃火ヲ及シ得サル地域ニ對シ其特性ヲ發揮セン
ムル如ク之ヲ用フ

2、使用ノ爲ノ部署、攻撃ニアリテハ初ヨリ火線ニ
出スコトナク突撃準備ニ際シテ射手ニ目標、概略
ノ射擊位置並爾後ニ於ケル行動ヲ示ス

防禦ニアリテハ射擊スヘキ地域ニ對シ有利ニ射擊
シ得ル位置ヲ選定シテ所要ノ工事ヲナシ置キ敵近
迫セハ機ヲ逸セス所要ノ指定位置ニ遁出シテ敵ヲ
射擊ス。

- 1、火線ヲ構成スルニハ小隊長ハ各分隊長ニ小隊ノ射撃スヘキ目標火線ニ出スヘキ分隊基準分隊及其關係位置ヲ示シ又授隊ニ行動ノ準據ヲ與へ且要スレハ授隊ノ長ヲ命ス
- 2、小隊ノ射撃スヘキ目標ハ爲シ得レハ標メ之ヲ示シ置クヲ可トス
- 3、火線構成ト同時或ハ其後ニ於テ通常敵線ニ至ル事離射撃開始ノ地點等所要ノ事項ヲ示ス
- 4、射撃開始ノ時機ニ於テハ其開始ヲ命シ爾後要スレハ分隊ノ射撃目標ヲ示スコトアリ

四九
第二百六十九
運動ニ依リ包囲
ヲ行フ
斜射ニ依リ包囲的効果
ヲ收ム（敵ノ突出部ニ
對スルモノ）

其他陣地進入ニカリケハ撃テ失セス敵狀ヲ通報シ機
関銃中隊歩兵砲ノ戰闘ヲ便ニスルモノトス
五一、舊圖第二百七十三ヲ參照シ左ノ如ク圖示説明ス

増加（配當セラレタルトキ要スレハ行フ）

A vertical black line representing a staff or a beam, extending from the top to the bottom of the page.

2

A vertical scale or ruler is shown, oriented vertically. It has a solid black line running vertically through the center. At the bottom, there is a horizontal tick mark with the number '5' written above it. Above this, there is another horizontal tick mark with the number '10' written above it.

XXX

A vertical strip of paper with a wavy top edge, four 'x' marks along its left side, and a small number '6' near the bottom.

敵情偵察及報告

機ア巡セス敵陣ノ狀況ヲ詳ニ
ヲ最モ妨害スヘキ敵ノ位置狀
敵陣ノ觀點ヲ確メ要スルハ之

ニ開スル意見ヲ附シ之ヲ中斷

三、皆樂集十六ノ2ヲ見

步兵操典

ク記述ス
小隊長ヘ火線ノ附近ニ我力機開銃、歩兵砲陣地ヲ占
ムルノ通報ヲ受クルカ或ヘ既ニ其陣地ヲ占ムルニ至
レヘ此等火器ヲシテ速ニ射撃ヲ開始シ且成ルヘク永
ク現在ノ位置ニ在リテ射撃ヲ繼續シ得シムル爲其射
撃方向ヲ顧慮シ分隊ノ間隔ヲ開カシメ或ヘ火線ノ一
部ヲシテ一時前進ヲ控ヘシムル等適宜ノ處置ヲ講ス
ヘシ

對射側射ニ供
リ色画的効果
ヲ收ム

(對射ノ一観ニ
シテ行フニ)

The diagram illustrates the feeding mechanism of a silkworm. At the bottom center, a horizontal bar represents the body of the silkworm. Above it, a circular structure labeled '口器' (mouthparts) is shown with arrows indicating its movement. A dashed arrow points from the mouthparts towards the gut, which is represented by a series of vertical bars of increasing length extending upwards. The gut ends at the top with a wavy line representing the rectum. On either side of the gut, there are two sets of diagonal hatching patterns, each labeled '腺小胞' (glandular cells). The entire diagram is enclosed in a rectangular frame.

A diagram consisting of several elements. At the top right is the Japanese character '射入' (entry). Below it is a stylized sun or star symbol with radiating lines. A vertical arrow points upwards from the word '方向' (direction) to this symbol. To the left of the sun symbol is a vertical column of text: '方向' (Direction) at the bottom, followed by a short horizontal line, and then '突入' (entry) at the top.

其體階梯運動
開跳中隊步兵
五一、舊圖第一

ニ方リチハ
砲ノ裏面ヲ便
百七十三フ參照

失セス敵狀ヲ
スルモノトス
シ左ノ如ク圖云
スコト屢アリ
（スレハ行フ）

新規シノリ 説明文

五四、答業第十六ノ(2)ヲ見ヨ

五五、著眼第三百十第七百二十三第七百九十五ヲ参照
左ノ如ク記ス

大隊中隊ノ豫備隊ニ就テハ第九ノ1ヲ見ヨ

聯隊豫備隊ハ戰果ノ擴張ニ使用セラルヲ本則トス
狀況ニ依リ正面ノ擴張ニ任スルコトアリ

五六、著眼第二百八十八第二百九十三百二十七第三
百二十八第七百五十四及第七百五十五ヲ参照ス

敵兵我陣地ニ侵入セシ後ノ逆襲ハ大隊長、中(小)隊長
ノ行フ逆襲ト概シテ同シキモ陣地前ニ於テ敵ノ攻擊
頓挫シタル時ノ逆襲ハ其突出ノ距離ニ於テ稍々趣旨
異ニス、即チ大隊ニ於テハ「我火力ニ依リ敵ノ攻
擊頓挫セハ大隊長ハ全般ノ狀況ニ鑑ミ決然逆襲ヲ敢
行スヘシ」トアルモ中(小)隊長ニアリテハ「輕舉ニ
陣地ヲ棄テテ出撃スルハ之ヲ戒メサルヘカラス、然
レトモ陣地前至近ノ距離ニ於テ我カ火力ノ爲萎靡混
亂セル敵ヲ驅逐スルヲ有利トスル場合ニ於テハ中隊
長ハ決意逆襲ヲ敢行スヘシ」トアリ、之ニ依テ之ヲ
見レハ大隊長ハ敵ノ攻擊頓挫セハ之ヲ捉ヘテ逆襲ス
ヘキモ中(小)隊長ニアリテハ陣地前至近ノ距離ニ於

十一、中隊縱隊

指揮掌握ニ便且ツ正面ニ銃剣ヲ使用スルコト比較的容易ナルモ運動ニ困難ナリ

十二、併立縱隊

指揮掌握ニ便且正面ニ銃剣ヲ使用スルコト比較的容易ナルモ運動ニ困難ナリ

三、分隊ノ側面縱隊ヲ併列セル小隊ヲ併列セルモノ
小(分)隊ノ掌握便ナルモ中隊トシ
テハ正面廣キニ過キ掌握便ナラス、
兵器ノ使用比較的便ナルモ突壁ノ
使用不便ナリ中隊トシテノ運動比較的便ナラス
4、同上ノ小隊ヲ重疊シタルモノ

運動容易ナルモ動きモス
レハ縱長伸ヒ易ク指揮掌握便ナラス、又兵器ノ使用便ナラス
5、又此等ノ隊形ノ前方ニ濃密ナル數兵ヲ進ムルコ

◆歩兵操典◆

チ始メテ逆襲ヲ敢行スルヲ建前トセラレタルナラ

ン、蓋シ大隊ハ戰術單位ナルヲ以テ其逆襲ハ延ヒテ
全般ノ攻勢移轉ヲ誘致シ得ルモ中隊小隊ハ其可能性

少キヲ以テ徒ラニ孤立ニ陥ルヲ慮リ至近ノ距離トセ
ラレタルモノナルヘシ

五七、著眼此問題ハ第三百八及第百十九ヲ引用ス
瓦斯攻擊ヲ受クルカ或ハ之カ警報ヲ聞クカ若ハ撤毒
セス部下ニ防毒面ヲ裝著セシムルコトニ注意スヘシ
此際指揮官ノ號令、命令ノ徹底甚々困難ナルヲ以テ
シアルヲ豫察シタルトキハ中隊長及各幹部ハ機ヲ失
セス部下ニ防毒面ヲ裝著スヘシ

指揮官ハ記號等ヲ適切ニ應用シ部下ハ之ニ注意シ能
ク戰闘ヲ遂行セサルヘカラス
兵ハ瓦斯攻擊ヲ受クルカ或ハ之カ警報ヲ聞クカ若ハ
撤毒シアルヲ豫察シタルトキハ直ニ比隣相傳ヘ別命
フ待タス各自迅速確實ニ防毒面ヲ裝著スヘシ

五八、著眼第三百三十三第三百三十四第三百三十七第
三百三十八ヲ参照ス

トアリ銃剣ノ使用比較的容易ナリ
又輕機關統ハ小隊毎ニ又中隊ニ經メテ各其隊形ノ
後方ニ行進セシム
五九、著眼第三百三十五ヲ参照左ノ如ク記述ス
夜間ノ運動ニアリテハ他方面ノ銃聲又ハ喊聲ニ牽カ
レテ其行進方向ヲ換フルコトナキヲ要ス又前方ニア
ルモノハ特ニ其步度ト連絡トニ注意シ要スレハ時々
停止シテ連絡及秩序ヲ恢復スヘシ
行進中敵ノ有効射擊ヲ受ケタル時ハ其效力ヲ減殺ス
ル爲一時停止シ又照明セラレタル場合ニ於テハ我行
動ヲ祕匿スル爲一時停止シ又其蔭影ヲ利用スルヲ可
トルコトアリ、然レトモ其何レノ場合ニ於テモ之
カ爲前進運動ヲ停滞シ又ハ行進方向ヲ誤ルカ如キコ
トナキニ注意スルコト緊要ナリ
夜間ノ前進ニ在リテハ縱ヒ照明ヲ受クルモ其蔭影ヲ
利用シ得ルカ如キ進路ヲ選定シ得ハ有利ナリ

六〇、著眼第三百三十七ヲ参照左ノ如ク記述ス
夜間ニ於ケル中隊ノ攻擊隊形選定ノ要ハ指揮掌握確
實ニシテ正面ニ對シ多クノ銃剣ヲ使用シ且成ルヘク
運動容易ニシテ要スレハ敵火ノ損害ヲ減少シ得ルコ

◆步兵操典◆

一一六

トフモ顧慮スルヲ必要トス之力爲中隊縱隊、併立縱隊、分隊ノ側面縱隊ヲ併列セル小隊ヲ併列若ハ重疊シタル隊形又ヘ時トシテ此等ノ隊形ノ前方ニ近ク濃密ナル敵兵ヲ遇ムル等狀況特ニ敵陣地ノ狀態、地形明暗ノ度等ニ應シ適宜之ヲ選擇スヘシ

時トシテ中隊ヲ第一線ト豫備隊トニ區分スルコトアリ此際中隊長ハ豫メ豫備隊ニ所要ノ命令ヲ與ヘ中隊ノ突擊ニ方リテハ其長ヲシテ適宜動作セシムルモノトス又輕機關銃ノ位置ハ小隊毎ニ其後方ニ續行セシム又ハ中隊ノモノヲ一團トシテ其後方ニ前進セシムル等之カ使用ヲ顧慮シ定ムモノトス

六一、書記第三百四十三ヲ引用シ左ノ如ク記述ス

1、破壞作業間中隊ノ態勢

當時ノ狀況ニ依リ異ナルモ破壞終ラントスル時機ニアリテハ機ヲ逸セス突擊ヲ實施スル爲我企圖ヲ察知セラレサル如ク勉メテ敵ニ近接シテ攻擊ノ諸準備ヲ整ヘアルヲ要ス

2、突擊

イ、各小隊ニ突擊路ヲ配當シ基準小隊ヲ定ム
ロ、中隊長ノ命令ニ依リ配當セラレタル突擊路ニ依

如ク定ム

支點ノ兵力ヲ増減シ重要ナル方面ノ支點ニハ豫備隊ノ一部ヲ増加シ又ヘ射擊區域ノ配當ヲ變更スル等ノ處置ヲ講ス

兩支點間ノ間隔ニ一部隊ヲ配置シテ敵カ此間ヨリ自由ニ行動スルヲ防キ又一部支點ノ位置ヲ變更スルコトアリ

六二、書記第三百四十七ヨリ引用左ノ如ク記ス

1、火網ハ至近距離ニ於テ熾盛ナル火力ヲ發揚シ得ル如ク定ムヘキモノニシテ支點ノ守兵ハ専ラ當該支點ノ防戰ニ任セシメ支點相互ニ火力ヲ以テ支援セシメサルヲ本旨トス

2、地形上特ニ一部ノ火力ヲ隣接支點ノ正面ニ指向セシムルヲ、斯ル場合ニ於テハ特ニ相互ノ連絡ヲ密ニシ好機ニ投シ有效ナル射擊ヲ行ヒ得ル如ク處置スルコト緊要ナリ

3、夜間射擊ノ爲ニハ友軍相互ニ危害ヲ及ササル如ク嚴密ニ規定スルヲ要ス

六三、書記第四百四十六第四百八十第四百五十ヲ参照ス

リ突入ス此際破壞口通過ト共ニ一舉敵陣ニ突入ス

ルヤ又ヘ通過後一旦停止シテ突入スヘキヤハ情況特ニ敵陣地ノ狀態ニ依ルモノトス而シテ破壞口通過ト共ニ一舉敵陣ニ突入スル場合ニ於テモ小隊毎ニ敵陣深ク侵入スルコトナク基準小隊ニ連繫ヲ保持シ中隊一團トナリ豫定ノ地點ニ進出スルコトアリムルヲ要ス

六二、書記第三百四十四乃至第三百四十七ヲ参照シ左ノ如ク圖示ス

尙ホ答案第三十三ヲ參照ス
照スヘシ



火網ハ至近距離ニ於テ熾盛ナル火力ヲ發揚シ得ル

1、友軍歩兵ノ間隙ヨリ射擊スル場合ニ於テハ中隊長若ハ小隊長ハ進出スヘキ地域ニアル第一線部隊長ト速ニ連絡シ當面ノ敵狀ヲ明ニシ任務ノ達成ヲ圖ルト共ニ射擊ニ支障ヲ來ササル如ク陣地ヲ選定スルヲ要ス

2、間接射擊ニ依ル射擊ヲ行フ場合ニ於ケル陣地ノ選定ニ方リテハ測定所、觀測所、遮蔽角及中間地物特ニ友軍トノ關係ヲ顧慮スルヲ要ス而シテ其間隔ヲ概メ十乃至二十米トナシ得ル如キ地域ヲ有スルコトニ注意スルヲ要ス

六五、書記第四百六十三ヲ引用左ノ如ク記述ス

直接照準ノ射擊ニ於ケル射法ハ目標ノ情態射擊ノ目的距離ノ遠近射手ノ技術彈著觀測ノ難易及銃ノ精度等ニ依リ定ムヘキモノトス

點射ハ狹正面ニ射擊ヲ凝集スルニ適シ概メ左ノ如キ場合ニ應用スルコト多シ

狹正面ノ目標ニシテ明瞭ニ照準シ得ルトキ
敵ノ近接ヲ防止スヘキ地區若ハ廣正面ノ目標ヲ縱射スルトキ

狹隘ナル通路若ハ縱長大ナル目標ヲ縱射スルトキ

◆歩兵操典◆

一八

分散セル目標ノ狹小ナル濃厚部又ハ重要部ヲ射撃スルトキ
遠キ距離ニ在ル狹小ナル目標ニ對シ其彈著ヲ観測シテ射撃シ得ルトキ

試射ノ目的ヲ以テ射撃スルトキ
薙射ハ横廣ニ射彈ヲ散布スルニ遠シ概ネ左ノ如キ場合ニ應用セラルコト多シ

突撃準備又ハ突入直前某區域ヲ平等ニ制壓セントスルトキ

村端、稜線及林縁等ヲ占領スル目視困難ナル敵ニ對シ射撃ヲ行フトキ

夜間若ハ濃霧又ハ煙幕ニテ遮断セラレタル場合某區域ニ射撃ヲ行フトキ

濃密ナル散兵ニ對シ射撃ヲ行フトキ

微薙射ハ點射ヲ以テセハ集束弾道目標外ニ逸スルノ虞アルトキ又ハ遠キ距離ニ在ル目標ニ對シ其彈著觀測困難ナルトキ等ニ用フルモノトス

六六、著眼第七百二十四第七百二十七第七百二十八ヲ参照シ左ノ如ク記述ス

1、機關銃中隊ハ主トシテ第一線中隊ノ近距離ニ於

定メ次テ任務ヲ與フルモノトス

任務ヲ與フルニハ特ニ協力スヘキ部隊又ハ射撃スヘキ目標(區域)陣地ノ概要及射撃開始ノ時機等所要ノ事項ヲ示ス

六七、著眼第七百三十九第七百四十ヲ参照シ左ノ如ク記述ス

敵陣ニ突入シタル第一線中隊ハ互ニ協同シテ迅速果敢ニ敵ノ抵抗ト逆襲トヲ破壊シテ一意突進ニ勉メ機關銃中隊及歩兵砲ハ機ヲ失セス適當ナル位置ニ進出し最モ有效ニ協力スヘシ此際曲射歩兵砲ハ陣地ヲ變換スルコトナク其特性ヲ利用シ射撃ヲ繼續スルヲ有利トスルコトアリ

敵陣内ノ攻撃ニ在リテハ一意指示セラレタル方向ニ前進シ隣接部隊縱ヒ敵ノ爲阻止セラル場合ニ於テモ極力前進ヲ繼續スルコトニ勉メ速ニ戰果ヲ擴張シス若第一線ノ一部成功シタル場合ニ於テハ直ニ豫備隊ヲ該方面ニ進メテ尙抵抗ヲ持續スル敵ノ側面ヲ攻擊セシメ速ニ戰闘ノ進捗ヲ圖ルモノトス又隣接部隊ノ攻撃我ニ比シ追撃セシ場合ニ於テモ亦此ノ如キ處

◆歩兵操典◆

二九

ケル攻撃ニ協力セシメ狀況特ニ之ヲ要スレハ歩兵ノ中距離ニ於ケル前進ヲ援助セシムルヲ有利トスルコトアリ前者ノ場合ニアリテハナルヘク地形特点ニ制高地ヲ利用シテ第一線歩兵ノ後方若ハ側方ヨリ其前進ヲ援助セシメ情況之ヲ許ササル場合ニ於テハ最前線ト行動ヲ共ニセシム後者ノ場合ニ在リテハ過早ニ敵火ノ損害ヲ被リ弾薬ヲ浪費セサルコトニ注意ヲ要ス

2、歩兵砲ハ主トシテ第一線中隊ノ近距離ニ於ケル攻撃ニ於テ重要ナル時期ニ十分ナル威力ヲ發揮シ其攻撃ニ協力セシム此場合ニ於ケル陣地ハ火砲ノ特性ニ依リ定ムヘシト雖モナルヘク永ク同一陣地ヨリ有效ナル射撃ヲ爲シ得ル如ク勉メテ敵ニ近ク位置セシムルヲ可トス、而シテ曲射歩兵砲ハ其特性上容易ニ其陣地ヲ選定シ得ヘシト雖モ平射歩兵砲ハ制高地點歩兵線ノ外翼又ハ間隙等ヲ利用シ已ムヲ得サレハ最前線ト其行動ヲ共ニセシム

3、任務ヲ與フルニハ大隊ノ展開時ニ之ヲ命スルヲ可トスルモ若狀況ニ依リ未タ任務ヲ與フルコト能ハサル時ニ於テハ爾後ノ使用ヲ顧慮シテ其行動ヲ

置ニ出ツルヲ有利トスルコトアリ、之カ爲大隊長ハ第一線中隊、機關銃中隊及歩兵砲等ニ所要ノ指示ヲ與ヘ且豫備隊ヲ第一線ニ近ク續行セシメ機ヲ失セス戰果ヲ擴張シテ速ニ敵陣ノ後端ニ進出スヘシ大隊長ハ戰闘間豫備隊ヲ使用シ盡シタルトキハ爲シ得ル限リ速ニ新ニ豫備隊ヲ設クルコト緊要ナリ頑強ナル敵ニ對シテハ一舉ニ敵陣ヲ突破シ得サルコトアリ此場合ニ於テハ大隊長ハ部下諸隊ヲ激励シテ占領セル地點ヲ確保シ隊勢ヲ整ヘ百方手段ヲ盡シテ突撃ノ機會ヲ誘起シ百折不撓ノ勇氣ヲ現シ飽クマテ突撃ヲ反復シ以テ最後ノ勝利ヲ獲得セサルヘカラス然レトモ如何ナル場合ニ於テモ突撃部隊ノ行動ヲシテ絶エス有効ナル火力ノ援助ヲ缺カシメサルコト極メテ緊要ナリ

六八、著眼第七百八十七乃至第七百八十九ヲ参照シ左ノ如ク記述ス

戰車ヲ伴フ敵ニ對シテハ戰車ト協同シテ前進スル敵ヲシテ對抗ノ處置ヲ講スルノ邊ナカラシムルヲ要ス若第一線ノ一部成功シタル場合ニ於テハ直ニ豫備隊ヲ該方面ニ進メテ尙抵抗ヲ持續スル敵ノ側面ヲ攻撃セシメ速ニ戰闘ノ進捗ヲ圖ルモノトス又隣接部隊ノ攻撃我ニ比シ追撃セシ場合ニ於テモ亦此ノ如キ處

◆歩兵操典◆

三〇

敵ニ陷リ又ヘ一地ニ開集スルカ如キコトアルヘカラ
ス而シテ對戰車部隊ハ通常後方部隊ヨリ豫メ所要ノ
兵力ヲ指定シ要スレハ火線ニ在ル部隊ノ一部ヲ以テ
之ニ充テ且其兵力ハ勉メテ之ヲ節約スルヲ要ス

戰車ヲ射擊スルニ方リ小銃、輕機關銃及機關銃ニ在
リテハ敵戰車至近ノ距離ニ達シタルトキ其展望孔又
ハ照準孔ニ對シ射彈ヲ集中シ平射步兵砲ニ在リテハ
確實ニ效力ヲ期シ得ル如ク近距離ニ到ルヲ待チ之ヲ
射擊スルモノトス

爆薬類ヲ以テ戰車ヲ攻擊スルニハ成ルヘク戰車ヨリ
行フ射擊ノ死角内ニ突進シ或ハ地物ニ身ヲ潜メテ其
近接ヲ待チテ軌道ヲ爆破スルヲ可トス而シテ故障又
ハ地形等ニ依リ其行動遲緩セル時機ニ乘スルヲ得ハ
最モ有利ナリ

其他敵ノ戰車上ニ跳ヒ乗リテ銃砲ノ操作ヲ妨害シ或
ハ展望孔又ハ照準孔ヲ閉塞スル等機宜ニ遭スル勇敢
ナル行動ヲ決行スルコトヲ要ス

六九、著眼第七百八十八フ引用ス
戰車ヲ射擊スルニ方リ小銃輕機關銃及機關銃ニアリ
テハ敵戰車至近ノ距離ニ達シタルトキ其展望孔又ハ

照準孔ニ對シ射彈ヲ集中シ平射步兵砲ニアリテハ確
實ニ效力ヲ期シ得ル近距離ニ到ルヲ待チ之ヲ射擊ス
ルモノトス

七〇、著眼第八百四十一乃至第八百四十三ヲ參照左ノ
如ク記述ス

1、步兵ト戰車トノ協同ノ要ハ步兵ヲシテ戰車ノ獲
得セル成果ヲ機ヲ失セス利用セシムルニアリ故ニ
步兵小隊長ハ戰車ノ其敵兵線ヲ超越シテ前進スル
ヤ直チニ起チテ前進シ其成果ヲ利用獲得スルヲ要
ス

2、戰車ハ其内部ヨリスル視察極メテ困難ナルヲ以
テ戰間間歩兵ハ機ヲ失セス當面ノ敵情、戰車ノ行
動ヲ阻止スヘキ障礙竝必要ナル要求等ヲ戰車ニ通
報スルコトニ勉ムルヲ要ス之カ爲戰車トノ間ニ豫
メ連絡スヘキ地點及記號ヲ定メ或ハ連絡者ヲ出ス
等各種ノ手段ヲ講スルコト聚要ナリ

3、戰車敵或ハ地形ノ障碍ニ依リ其行動ヲ妨害セラ
レタル場合ニ於テハ歩兵ハ狀況ノ許ス限り一部ヲ
以テ之ヲ援助スヘシト雖モ之カ爲苟モ攻擊ヲ迴避
スルカ如キコトアルヘカラス

全幹部候補生試験問答集

(電報略號カケ)

發行所

合資

(電報略號サイ)

兵書刊行會

印刷者

蛭沼織居

發行所

東京市牛込區市谷本村町九

著作者

東京市小石川區戸崎町三五

昭和八年五月十五日印 刷

昭和八年五月二十日初版發行

昭和九年四月三十日第二版

複製
轉載
不許

定價

各兵共通ノ部
一圓三十錢
課目ノ部
三十
但砲兵五十錢
均一錢

主 務

陸軍省檢閱済兵書發行
陸軍省編纂學校敎練必携大賣捌
兵用圖書、出版、販賣、大取次

